

# MORE ウォッチング Next

Vol. 34

「テーマ」

## “心豊かな暮らし” がV字回復の 原動力

平成が終わり新時代を迎えようとしている現在、昭和20年代後半に創業し、時代の変化に対応しながら、次世代へたくましく成長している中小企業があります。豊川市に本社を置き、昨年創業65周年を迎えた山口化成工業株式会社です。

創業当初の主力商品はゴム紐の製造でした。高度成長期には衣食住の全てが便利になる中で、ゴム紐の需要も確実に伸びていきました。その過程で昭和30年代にはさらに成長するために発泡スチロールの製造へと事業転換をしていきます。しかし、時代の環境変化で発泡スチロールの取扱量は減少傾向に。業績が悪化する中で、新事業や新製品の開発へと活路を見出そうと奮闘します。その陣頭指揮を執ったのが代表取締役の松倉利夫社長です。会社存続のため自分の給料はもちろん、自家用

車の小型化など経費を徹底的に削減。普段の実直な行動も評価され、金融機関からの支援を得て何とか研究開発に取り組みます。そして、メーカーにできることとして考えたのが販路開拓だけではなく、素材の見直しと新製品の開発で、根本的に事業を見直す発想でした。そして、少しでも自分の感性と接点があると感じた展示会や勉強会には積極的に参加をして素材を求めていきました。その中で出会った素材が熱可塑性ビーズ発泡ポリウレタンでした。これに発泡スチロールの成形技術を加え、医療器メーカーとの共同開発により車いすのノーパンクタイヤの開発に成功。苦労したのは「空気（チューブ）タイヤと変わらない乗り心地」を表現することです。車いすは、自動車と違って路面の凹凸が直接、おしりや腰に響きます。それを解決するために試行錯誤し研究を重ねた結果、今では車いすのノーパンクタイヤシェアは断トツとなりました。

松倉社長が常に意識したのは会社理念にある「for the good life」という、「誰もが心豊かな暮らしができる世界を作る」という考えでした。発泡スチロールメーカーから、介護業界の車いす（タイヤ）に着目し、そこに自社の開発力を注入していく戦略です。業界が低迷し会社業績も下降線をたど

る中、周りからは「よく会社を続けていられますね。」と言われることもしばしば。それでも、会社理念のもと地道に新製品開発に取り組み、常に情報収集と社内改革を進め新たな技術を学ぶことも忘れず前進してきました。結果的にはそれが「V字」という形につながりました。

現在では新製品として、ノーパンクタイヤの弾力性のある成形技術と介護から発展した高齢化社会における健康寿命を組み合わせた「グリップセイブ」と名付けた握力維持グッズが完成しています。ドーナツのボンディングと同じ形をしており、日常的に「ニギニギ」することで、握力が維持でき、指からの刺激でさらに健康に貢献するというものです。

経営者自身の心の豊かさが大きく社会へ貢献し会社業績にも現れました。

### Profile

MORE経営コンサルティング株式会社

代表取締役 日野眞明

名古屋商科大学大学院客員教授、  
MBA、中小企業診断士、  
ITコーディネータ、1級販売士。

「商売繁盛」を応援することが大好きな  
マーケティング経営コンサルタント。  
豊橋生まれ。